

孫子老

第 51 号

平成28年 2月28日発行

社会福祉法人よこた福祉会

島根県仁多郡奥出雲町稲原57-1

TEL (0854) 52-2567(代)

FAX (0854) 52-2568(代)

E-mail : yokohu-1@jeans.ocn.ne.jp

http://yokota.or.jp

介護老人福祉施設むらくも苑
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンターほのぼの
デイサービスセンターにここに

ヘルパーステーションたんぽぽ
訪問看護ステーションまごころ
居宅介護支援事業所

おくいずも子育て応援事業所

〜認定事業所としてのこれから〜

よこた福祉会 施設長 梅木浩美

平

成二十七年十一月社会福祉法人よこた福祉会は、町よ

り『おくいずも子育て応援事業所』の認定を頂きました。数ある事業所の中から、従業員の仕事と子育ての両立を応援する事業所として認めて頂きこれから更に働きやすい職場になるよう努めてまいります。

開設した昭和六十二年には、産前産後の休暇が少なく、私自身も家族の協力なしでは子育てはできなかつたと感じています。あれから三十年。今や子育ては個々の問題ではなく、国家をあげての課題となりました。

奇しくも、この広報の名前や文化祭の名前でもある「孫子老」は、その年代に関わらず手を携えながら地域で生きてゆこうという意味から名づけられたものでした。

職員の中には、子育て真っ最中の者、これからの者、もうすでに

子育てから孫育てに移っている者など、様々な年代が共に働いています。中には、「イクメン」と呼ばれる子育てに積極的に関わる素敵なおとうさんもいます。

介護という仕事を選んだ私達は、人に関わることを何より大事にしてまいりました。子育て応援事業所として、また新たに人と地域との関わりの幅を広げていく機会を得たように感じています。絵本の読み聞かせの会、子育てに必要な物の交換やレンタル、職員家族を含めての交流会、大人の参観日など、これから取り組みたいと思う



認定マーク



ことがたくさんあります。当法人ホームページや広報紙「孫子老」、ジョーホー奥出雲の番組などを通じて、ご報告してまいります。

奥出雲町内の事業所として、また社会福祉法人として、これからも様々な役割を探究しながら歩んでまいりますので、なお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

孫子老サポーター隊

〜おでかけ支援〜

「専門職員の助けがあれば出掛けられるのに：」、「車椅子用の車があれば安心なのに：」、「夫婦で思い出を作りたい」、「親孝行したいけれど一人では無理かなあ」、そういったご利用者様、ご家族様の想いにお応えする形で、法人のサービスを利用されている要介護認定3以上の方を対象に、新たな地域貢献事業として『孫子老サポーター隊おでかけ支援』の活動を今年度からはじめました。

去る十二月四日その初めての利用がありました。目的地は松江市、県立美術館、松江歴史館。前日からの天気予報は荒れ模様の雪でしたが、サポートする私たちの心配をよそに、当日は時々晴れ間もみられ、順調に小さな旅が出来ま



まだ始まったばかりの取り組みですが、『ご利用者様、ご家族様にとつての生活が少しでも潤い、励みや楽しみに繋がる』そういったおでかけ支援活動になるよう地域の声に耳を傾けながら今後取り組みます。

した。普段はベッド上での生活が殆どで、リクライニング車椅子での長時間の外出はご本人にとつてかなりの負担があったと思えます。また同行して頂いたご家族も不安はあったと思います。旅の終わりが近づいた頃、ご本人から「こういったサービスがあるとは思わなかった。身体は疲れたかも知れないが心が満足したので大丈夫ですよ」と話され、「受診などの外出支援はあっても個人の楽しみを支援する事業はなく、今回は本当に嬉しかった。ありがとう」と声を掛けて頂きました。私たちは外出支援の意味を改めて噛み締め、来年の約束をしながら帰路に着きました。大切な思い出作りのための支援ができ、普段の生活に彩を添えることができたのではないかと感じています。

孫子老まつり

『孫子・老のふれあい』

今年度は、「ありがとうそしてこれからも地域と共に」をテーマとし、「ご利用者様をはじめご家族様、地域の皆様方に喜んで頂けるよう準備を進めてまいりました。

当日は、天候にも恵まれ、大勢の皆様にご来苑頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

施設内外と様々なにぎわいの中、舞台では焼き饅頭、炊き込みご飯、たこやき、ドーナツ、豚汁等、皆様から「美味しかったよ」と好評を頂き全て完売することができました。

余興では午前の部に、仁多乃炎太鼓の勇ましく力強い演奏や、馬木おとめ会による華やかな銭太鼓、傘踊り、子供どじょうすくいを披露して頂き、大いに祭りを盛り上げて頂きました。また、午後の部には、職員のご自慢大会を企画し、職員一人ひとりの豊かな個性を表現し、ご利用者様からたくさん笑顔の頂きました。

これからも地域の皆様へ「ありがとう」の気持ちを抱き、職員一同より一層の努力を重ねてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。



徒然草

今年のお正月は暖かく、おだやかな元旦を迎えることができました。しかし昔のようにはすがすがしい身の引き締まる思いは、味わえなくなっていました。私の子供の頃にはまず、お宮参りをして賑やかな気持ちになり、帰るとみんなで、こたつにあたりながら、かるたや福笑いをしました。外では羽根つき、凧あげをして元氣よく遊んだものです。少子化とはいえ、子供達の元氣な声が聞こえなくなり、寂しい感じがします。

だんだん、お正月だからと言って、とくに変わったことをするでもなく、そういうふうになりつつある世の中で、お正月の伝統儀式的門松やしめ縄などの「お飾り」は年の始まりのケジメとして、大切なことであると思います。

話は変わりますが、先日松江での出来事。小学生がおしゃべりしながら、向こうから帰ってきたので「お帰りなさい」と声をかけたら、だまって通り過ぎて行ってしまいました。これまた、何かとても寂しい気がしていました。同じような事象が新聞の投稿欄に載っていました。筆者は塾の講師をしておられ、子供達にその話をしたら、学校では知らない人に声をかけられたら注意するようにと、教えられているとの事でした。筆者はまた、悪人か善人かを見分ける力を教えて欲しいとも言っておられました。

よく言われることですが学校・家庭・地域が連携して将来を担う子供たちを、育てていかなければならないと感じました。



特別養護老人ホーム むらくも苑

むらくも苑は昭和六十二年四月に開所し、地域の皆様に支えられながら、今年で三十年を迎えます。又介護保険制度が始まってから、十六年が経過しました。昨年四月の法改正では、入所して頂ける方は原則、要介護3から要介護5の方が対象となりました。

制度の改正が年々ある中で、むらくも苑では、入所定員も当初の五十名から六十七名に増床し、現在は男性十一名、女性五十六名の方が生活していらっしゃいます。平均年齢も当初の七十八・六歳から八十六・七歳と上がりましたが、平均介護度は4・3と重度化は変わらない状況です。このような状況で、私たち職員は、ご利用者の笑顔とその人らしい生活が送れるように、お一人お一人のご要望を確認し、各係（介護・看護・相談・栄養）と連携を図り、支援をさせて頂いています。今後も地域の皆様に支えられ、地域に根差し、皆様と共に歩んでいく事ができるよう努力していきたいと思っております。

最後になりますが、むらくも苑での取り組みや行事等の様子等をホームページに掲載し毎月更新しておりますので、是非ご覧下さい。

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム むらくも苑の入所の流れ

特別養護老人ホームむらくも苑の入所の対象となる方

要介護3から要介護5までの方で、自宅での生活が困難な方が対象となります。
また要介護1から要介護2の方で、特段の理由により自宅での生活が困難な方も入所の対象となります。

入所申し込み

申し込みは担当の介護支援専門員を通じて、または直接むらくも苑まで申し出て下さい。申し込みには入所申請書にご記入して頂き、現在のご様子を伺います。

▶お問合せ先 むらくも苑 TEL 52-2567

入所検討委員会

毎月1回、申請書及び「特別養護老人ホーム入所評価基準表」により優先順位を委員会にて決定します。よって申し込み順ではなく、緊急性の高い方から優先して入所して頂きます。

なお入所検討委員会は当該法人の評議員や行政職員の方にも第三者として参加して頂き、入所決定について協議を行い、公平となるよう留意しております。

入所ご案内

入所の順番が近くなりましたら、入所検討委員会で決定した優先順位の高い方から入所の意向を確認します。またご本人へ面会し、施設での生活についてご希望等を確認させていただきます。

契約の締結

入所が決定しましたら、入所に必要な書類や日用品などを準備して頂きます。そして利用契約を結ばせて頂きます。

むらくも苑入所

むらくも苑での生活がスタートです。



一月十三日、むらくも苑では白寿・米寿のお祝いに合わせて新年会を行いました。

今年は女性の方ばかりで白寿が二名、米寿は三名の方がめでたくお祝いの日を迎えられました。ご家族様も多数ご参加頂き賑やかに祝いの催しを行う事が出来ました。

ご利用者様にとつてはこの施設行事は特別な晴れの日です。ご家族様が持参して下さった着物やチャンチャン

コを職員が着付けさせて頂きました。皆さんの前に出られた姿は少し緊張もあり、いつもとは違った雰囲気ではありましたが、皆さん元気に最後まで参加して



祝 白寿・米寿

下さいました。式では奥出雲町と施設からの記念品をお渡しさせて頂きました。今年は白寿の方には奥出雲町から玉鋼が送られました。祝杯の後はご家族の方、オンブズマンの浅山様、施設職員等、皆さんがカラオケで賑やかに歌の披露をし、会場は笑い声や笑顔に溢れたとても暖かい雰囲気になりました。最後はみんな笑顔で記念撮影。今年もとても良い新年会になりました。

これからもご利用者の皆様が元気で心豊かに苑での生活を送ることが出来ますよう、誠心誠意支援させて頂いたくださると思っております。おめでとうございます。

デイサービスセンターにこにこ 行事紹介

「みなさん、おはようございます！ そしてー！ ワッハッハ！」の掛け声有名(?)なデイサービスセンターにこにこの行事をご紹介します。

毎年横田幼児園の皆さんとの交流会では、ご利用者様だけでなく、職員も楽しみにしている行事です。歌やダンスで元気な子供たちの姿や声にデイサービス中に笑顔があふれます。恒例の風船バレーボール大会では子供たちの連勝が続いており、今年こそは阻止したいと意気込んでおります。

梅干しや干し柿を作って「いい塩加減!」「干し柿が甘い!」などと味見をしたり、にこにこ畑の野菜を育てて漬物を作って味をみながら、春に植える野菜について会話するのも楽しみの一つです。

昨年は生け花教室豊翠会松崎様よりお花の話や活け方を教わりました。今年もいろいろな行事を通してご利用者様に季節や楽しさを感じていただきたいと思います。



職員募集について

やりがいのある介護の仕事をしてみませんか。資格を持っている方はもちろんですが、今は資格がない方でも興味のある方はお問合せ下さい。介護の資格以外にも看護師、調理師、理学療法士、作業療法士の資格を持っている方も募集しております。経験者は優遇し、また勤務形態についてもご相談に応じます。興味を持たれた方は是非ご連絡下さい。

● 人事担当 梅木・石原

TEL 0854-521-2567

編集後記

一雨ごとに春めいてくる今日この頃ですが皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度の冬は暖かく、雪もまったく積もらないと思っておりましたが、一変し寒くなり、大雪が降りました。温暖化の影響でしょうか。仁多郡は毎年二月頃からインフルエンザが流行します。皆様ご自愛くださいませ。



お問い合わせ・ご意見は

企画部 広報代表 荒砂 博之
TEL (0854) 521-2567 (代)
FAX (0854) 521-2568